

がん化学療法処方

プロトコール名: 大腸癌 CPT-11 + Cetuximab biweekly療法 (1クール14日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① デキサート注射液6.6mg + 生理食塩液100mL (点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服)	div	30分
	② アービタックス注射液500mg/m ² + 生理食塩液500mL	div	120分
	③ 生理食塩液 50mL (フラッシュ用) アービタックスと同じ投与速度	div	12分
	④ パロノセトロン静注0.75mg + 生理食塩液50mL	div	15分
	⑤ トポテシン注150mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL	div	90分
	⑥ 生理食塩液 50mL (フラッシュ用)	div	5分

d1 前投薬
レスタミンコーワ錠10mg 5錠 po

プロトコール適応時表示コメント

RAS遺伝子野生型治療抵抗性大腸癌、アービタックス投与30分前にレスタミン5T内服

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)